

医療法人財団 愛泉会

愛知国際病院

老人保健施設 愛泉館

# みやまみやま

vol.90

特集 退院支援

不安な退院後の生活に向けて  
治す+支援する病院へ

CROSS people

病棟看護師×地域医療連携室看護師

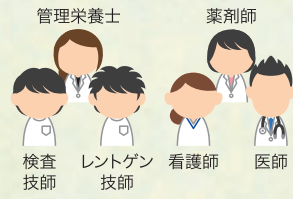
医療法人財団 愛泉会で働く仲間たち  
薬剤科



# 不安な退院後の生活に向けて 治す+支援する病院へ

高齢化が進むなか、医療や介護を受けながら病氣と共に生活する人が増えています。不安の多い高齢者を支えるのは「病氣を治す医療」に加えて「退院を支援するしくみ」です。

## 病院の役割 1 急性疾患の 治療や改善



病氣や症状に合わせて適切な検査や治療を行い、1日も早い回復を目指します。救急指定病院では、医療機関が開いていない深夜などの時間帯でも患者さんを受け入れます。



## 病院の役割 2 日常生活動作の リハビリ



数日間ベッドで寝続けると筋肉が衰え、立つことさえ困難になってしまいます。入院中はできるだけ早い時期から「立つ、歩く、食べる」など日常生活動作のリハビリを始めます。



## 入院時から始まる 退院支援

かつて病院は「病氣を治す」ための場所であり、退院が医療のゴールでした。ところが高齢化にともなう、治療を終えても身体的機能が衰えたり、持病を抱えていたり、自宅に戻ってから生活に不安を抱える患者さんやご家族が増えています。患者さんの状態や生活環境に応じて、多職種が連携を取りながら、在宅でのケア体制をサポートすることが求められます。地域包括ケア病床では、医師や看護師による治療に加え、「立つ、歩く、食べる」といった日常生活動作のリハビリを強化して、退院後も安心して生活できるように支援しています。

## マンガでわかる、退院を支援するしくみ

**1 救急搬送**  
救急指定病院では、いつ患者さんが運び込まれても対応できる体制を整えています。重篤な病氣と判断した場合、救命救急センター(3次救急病院)に搬送するなど病院間の連携も重要です。

**2 入院中**  
食事、着替え、トイレ、入浴などの、日常生活に必要な動作練習を行います。さらに調理、洗濯、買い物、掃除など、退院後の生活に向けたさまざまな動作練習も行います。

**3 病室**  
家でもリハビリして散歩できるようなプランには？  
医師: 訪問診療は2週間に1回にしましょう  
看護師: そうですね  
リハビリ担当: 家でできるようなプランには？

**4 地域医療連携室**  
退院後も診察に行きますからね  
医師: おひとり暮らしで自宅での生活が難しくなった方は、施設という安全な住処に「住み替える」という選択肢もあります。施設相談や福祉制度のご案内などみなさんの退院をサポートします。

## 病院の役割 3 退院に向けた 計画や提案



退院後の生活について、患者さんやご家族から早い時点で話を伺い、できるだけ希望に添えるよう準備を進めていきます。担当のリハビリスタッフや看護師、社会福祉士が、機能回復やリハビリ目標に向けた計画を立て、ケアマネジャーとも連携を取りながら、必要であれば住宅改修や介護の仕方、各種介護サービスなども提案します。

## 病院の役割 4 退院後の 住まいや 生活を支援



社会福祉士や退院調整看護師、ケアマネジャーが、退院後の住まい(生活環境)を確認し、福祉用具の提案など、さまざまな相談に乗ります。自宅での生活が困難な場合は、デイサービスやデイケア、希望に合った入所施設の紹介も行います。



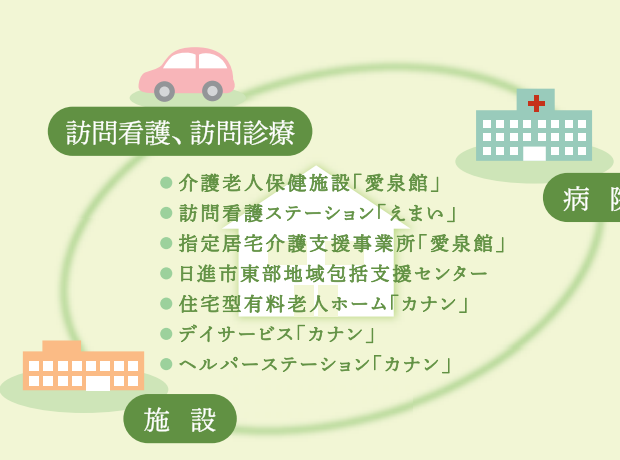
退院後は訪問医療や訪問看護で安心の医療をお届けします!



退院後は訪問医療や訪問看護で安心の医療をお届けします!

## 愛知国際病院のシームレスな退院支援

愛知国際病院は1981年の設立以降、地域の中核病院として患者さんを受け入れるだけでなく、訪問診療や訪問看護など自宅や施設での療養を支える体制も整えてきました。また、在宅療養支援病院として院内多職種の連携はもとより、院外の事業所(ケアマネジャーなど)とも緊密に連携しながら、生涯にわたって、途切れることなく地域のみなさんを支えます。



## 地域包括ケア病床とは?

2014年に新設。急性期治療を終えた患者さんを対象に、リハビリを中心とした治療を提供します。愛知国際病院の「地域包括ケア病床」では、土日もリハビリを実施し、1日も早い退院を支援しています。



退院後の医療連携も重要  
川口 愛知国際病院では、退院後の訪問診療にも力を入れています。実際にご自宅などに伺うので、退院支援で環境を整えた結果、患者さんがどう

川口 だからこそ、身体的なことについては看護師、日常生活の機能についてはリハビリ、介護や福祉関係の制度の相談については社会福祉士やケアマネジャーと、多職種のスタッフによる退院支援がポイントです。例えば「退院前訪問」では、ベッドからトイレまでの距離が3mならリハビリで3m歩けるようにしましょうとか、お風呂には手すりをつけましょうとか、退院までの取り組みが明確になります。

宮崎 退院後も安心してくださいなね」と患者さんに心からお伝えできます。「大丈夫、もうすぐ家に帰れますよ」

川口 今まで高齢者の入院は長期間のイメージでした。一度入院すると、なかなか退院できないというか。でも、これからは「時々入院、ほぼ在宅」の時代。患者さんが「家に帰りたい」と希望するならば、訪問診療や訪問看護

生活されているかを確認できます。宮崎 37年前の開業当初から訪問看護を行っているので、当院の職員は在宅医療を「当たり前」と考えていますよ。在宅の力を信じる、というか。特に高齢の方は、医療と切り離せない方も多いため、地域医療連携室による訪問診療や、訪問看護ステーション「えまい」は不可欠の存在です。

川口 その「えまい」が地域医療連携室と同じフロア内にあるのも心強いですよね。「今日あの患者さんはこうだったよ」「明日、こうしてきて」と、医師と訪問看護師が互いにやりとりできる恵まれた環境は、この病院の大きな強みのひとつだと思います。宮崎 だから私たち病棟看護師も「退院後も安心してくださいなね」と患者さんに心からお伝えできます。

川口 安心感って大事ですよ。これからは高齢者世帯がますます増えていきます。自宅での療養を望む方が安心して暮らせるよう、地域全体で手助けしあえるしくみづくりが大切なんでしょね。

川口 もう病院は「治療して治す」だけの場所ではないんですよ。宮崎 その方が、どういう環境で生活をされていたかを知って、退院後に

川口 高齡化によって、お年寄りの入院患者さんが増えましたね。宮崎 私たち病棟看護師の仕事は、点滴などの医療的処置や身の回りのお世話が中心ですが、後者の割合がすいぶん多くなってきました。川口 そうですね。日常生活の介助も重要な仕事になっていきます。それにお年寄りの方が骨折で入院すると、退院後に身体の機能が1段階落ちてしまうことが珍しくありません。普通に歩いていた方が杖を使うようになったり、杖を使っていた人が押し車や車椅子になったり…。宮崎 新たなサポートが必要になった患者さんやご家族に対して、退院後に安心して日常生活を送れるように支援することも、病院の大きな役目となっていくと感じています。川口 もう病院は「治療して治す」だけの場所ではないんですよ。宮崎 その方が、どういう環境で生活をされていたかを知って、退院後に



訪問診療や訪問看護に患者さんを託せる関係って大切ですね。

「退院後も安心してくださいなね」と心からお伝えできるのがうれしい。

病棟看護師 宮崎 里佳子 地域医療連携室看護師 川口 順子

退院後も安心して託せる医療連携を。目指すは「時々入院、ほぼ在宅」

川口 高齡化によって、お年寄りの入院患者さんが増えましたね。宮崎 私たち病棟看護師の仕事は、点滴などの医療的処置や身の回りのお世話が中心ですが、後者の割合がすいぶん多くなってきました。川口 そうですね。日常生活の介助も重要な仕事になっていきます。それにお年寄りの方が骨折で入院すると、退院後に身体の機能が1段階落ちてしまうことが珍しくありません。普通に歩いていた方が杖を使うようになったり、杖を使っていた人が押し車や車椅子になったり…。宮崎 新たなサポートが必要になった患者さんやご家族に対して、退院後に安心して日常生活を送れるように支援することも、病院の大きな役目となっていくと感じています。川口 もう病院は「治療して治す」だけの場所ではないんですよ。宮崎 その方が、どういう環境で生活をされていたかを知って、退院後に

少しでもその生活に近づけるように、どんな準備が必要かを考えていくことは、患者さんやご家族の安心にもつながります。川口 退院に向けてのカンファレンスも以前より早い時期から始まるようになりましたしね。入院されることが決まったときから、退院に向けて看護師や社会福祉士が動き出して、リハビリなどの多職種が関わることで、より多くの情報を得られるようになります。患者さんの状態やご希望を理解する上で役立っていますね。宮崎 ご家族と一緒に住んでいたとしても、突然身内が入院すると、なかなか退院後のことまでイメージできない方が大半です。昼間は仕事をして家にいない場合や、ご家族も高齢で体力がない場合など、実際に介護力があるかどうかは別の話。まして親と離れて暮らしているご家族は、いったい何を準備したらいいのか、まず想像ができないでしょうね。

Profile

病棟看護師 宮崎 里佳子

2002年入職。外来を経て、2004年から病棟へ。2009年に師長となり、病棟看護師をしっかりと束ねる存在。「ベテランも若手も、自主的に行動しながらどんどん育っていくチームワークが自慢です」と職場をアピール。



地域医療連携室看護師 川口 順子

2001年入職。外来、一般病棟を経て、「地域医療連携室」の立ち上げから携わり、2014年同連携室へ。訪問診療の同行やソーシャルワーカーとの連携、地域医療連携室のマネジメントなど、仕事内容は多岐にわたる。



治す+支援する 愛知国際病院の取り組み

患者さんの病状や取り巻く環境などによって、支援のカタチはさまざまです。そのごく一部を紹介します。



※各ケースは一例です。病状や環境によって対応が異なることがありますのでご了承ください。

あなたらしい生き方を応援する。それが私たちの退院支援です。

入院しているすべての人が元気になって退院できればいいのですが、残念ながら以前と同じ状態で帰れない人もいます。体を動かさにくくなったり、食べにくくなったり、またいろいろな管につながっていたり…。病気にかかったときも、治療しているときも、リハビリをしているときも、療養しているときも、それでも時間は流れていきます。

あなたの人生で大事なことは何でしょう。家族と共に過ごすことや自分の部屋で過ごす時間であるなら、その思いをかなえる療養を一緒に考えましょう。ご自宅でも可能な点滴や処置がありますし、医師や看護師だけではなく、リハビリや薬剤師がご自宅に伺うこともできます。私たちはあなたらしく生きることを応援しています。



地域医療福祉連携部  
部長 宮崎 雅

医療法人財団 愛泉会で  
働く仲間たち

職場のこと  
仕事のこと

薬剤科  
入院時から退院後まで  
薬物治療をきめ細かくサポート



主任  
星川 みのり  
愛知県松山市で育ち、大学入学を機に名古屋へ。2001年入職。薬剤師として日々、薬を通して患者さんを支えています。



薬局では調剤や注射薬の調整などを行います。



電子カルテに薬剤情報を入力します。

間違いなく薬が使われるように細心の注意の上で薬を準備しています。

今こそ病棟に薬剤師がいることは珍しくありませんが、当院では設立当初より「顔の見える医療を」という創立者川原啓美医師の方針で病棟に薬剤師が配置され、すでに35年以上の歴史があります。メンバーは薬剤師4人。薬剤科の部屋にこもるのではなく、多くの時間を病棟で過ごし、医師や看護師などと連携して業務にあたります。薬剤師は、薬の番人です。患者さんの入院時には、入院前に飲んでいた薬やサプリメント、薬のアレルギイなどを確認し、医師やスタッフと情報共有します。入院中は患者さんの状況や血液検査などを参考に、薬の量や副作用などをチェックし医師と



薬の飲み忘れがないか、飲みづらくないかなど、病室で患者さんの声に耳を傾けます。

相談したり、病室まで足を運び、直接患者さんやご家族に薬の説明を行ったり。さらに、退院後も無理なく継続できる飲み方や剤形、薬の管理と一緒に考えます。かかりつけ薬局など退院後に利用される医療機関や施設に「薬の情報」をお伝えし、必要であれば実際にご自宅を訪問することもあります。薬と患者さんを安全につなぐために細やかなサポートをする役目、それが薬剤師です。

職場のこぼれ話

全員、母です！

1男1女の母である星川さん(左)をはじめ、4人のメンバー全員が2人の子を持つ母。薬剤師と子育てを両立しています！



左から薬剤科主任の星川みのりさん、伴美佐子さん、柴田里美さん、佐藤裕子さん。

リレーでつづる  
Dr. ひだまり 日記



内科 川口 レオ

スーパーで売っているバナナ。房のなかで一本だけシールが貼ってありますよね。「デルモンテ」とか。子どもの頃、一番おいしい一本に目印を付けてあるのだと本気で信じていました。数年前に妻にその話をしたら大笑いされましたが、それからはいつも私にシールの付いたバナナを残してくれようになりました。いつしか「シール付きバナナ」はわが家のブームとなり、娘たちが先を争ってシール付きを欲しがったり、食べ終わったバナナからシールをはがして別のバナナに貼り直すという、思いやりに満ちた新ワザが編み出されたり…。こうなるともう、家族にしか理解できない、ヘンな儀式ですね。同じバナナなのに、小さな「しるし」があるだけで、他とは違う特別なバナナになる。いつもと同じ一日が、ほんの少しの違い、たと



渡航外来も担当しています。詳しくはP10をご覧ください。

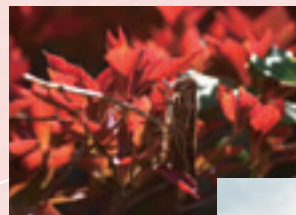
えば気になる娘と電車の中で目が合ったり、同僚や患者さんから優しい言葉をかけられたりするだけで、特別な一日が変わる。そんな小さな幸せを求め、感じながら、私たちは毎日を過ごしているのかもしれません。そして、私たち一人ひとりが、周りの人を少しでも幸せにする力を持っているのだと思います。「シールなんか貼られていなくても、おいしいバナナはそこにある」と分かったからなのか、今では以前ほど盛り上がることはなくなり、房の中にシールを探している自分があります。

Next Doctor >>> 内科 松本健先生です。お楽しみに!

～病院のお庭から～  
Photo Letter

秋空に星のように咲く、皇帝ダリア

皇帝ダリアと出会ったのは、10数年前のことです。11月半ばに米野木郵便局へ行く途中、花がたくさん植えられている家の庭で、高さ5メートル程の木に、薄紫の大きな花がたくさん咲いているのを見つけました。うわーっ、きれいな、なんという花だろうとネットで調べて皇帝ダリアの名を知りました。ぜひ病院の庭にもと、翌年春に3本の苗を購入してからは、秋の青空に星のような花が美しく映えるようになりました。花の咲き終わった太い茎を短く切って、ひと冬寝かし増やしていったのですが、ダリアの茎は折れやすく、添え木が必要で、結構な労力を必要とします。ここ1～2年は放りっぱなしでしたが、今年は添え木をしてまた空に届くような大木に育て、ご覧いただけたらと思っています。一度植えるとダリアの芽がで、毎年同じところから芽を出します。途中で折れても花を咲かせる生命力には感動します。



秋はオオベニタデの花や、赤く色づくドウダンツツジもきれいです。

皇帝ダリア



愛泉館だより

パワーリハビリ③ ヒップアップダクション

パワーリハビリで改善!

「最近歩くのが遅くなった」「身体が思うように動かない」。それは「使っていない筋肉」が原因かもしれません。全身の筋肉を動かしてバランスを良くし、「活動力」を高めていくトレーニングをパワーリハビリといます。第3回はヒップアップダクションを使った運動を紹介します。



両足を開いたり閉じたりする運動

体のバランスを調整している骨盤周りの筋肉(脚の付け根)の動きをなめらかにします。立っているとき、歩いているときのバランスを良くするのがこのマシンです。

閉じている時



脚の付け根から脚の先まで真っすぐに伸ばす

開く時



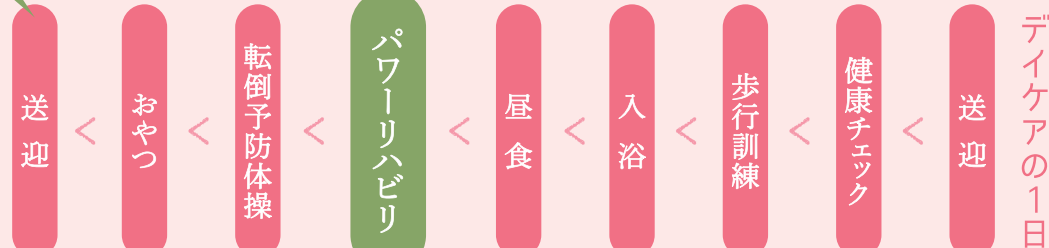
脚の付け根から膝の筋肉を使って脚を開くため、手はグリップを握らずお腹の上に

主な効果

- 車の乗り降りがラクにできる
- 立つとき、歩くときのふらつきを少なくする
- 段差を超えやすくする



車の乗り降りもリハビリに!



お尻の筋肉は、「立つ」「座る」「歩く」などの動作にとっても重要な役割を果たしています。しかし、加齢により最も衰えやすい筋肉でもあります。また、お尻の筋肉が弱まることで骨盤をしっかりと固定できず、腰痛の原因にもなります。Cさんはヒップアップダクションを使った運動で、骨盤の動きを改善し、車の乗り降りがとてもラクになりました。

作業療法士 服部 真哉

【さんのケース】  
(78歳 女性)  
最近、疲れやすく以前のように外出できないCさん。家族に病院へ連れていってもらおう際も、車の乗り降りがスムーズにいきません。「このまま歩けなくなるのでは」と不安を抱えていました。

「車の乗り降りがラク!」  
パワーリハビリで骨盤の動きを改善



老人保健施設「愛泉館」  
4つの役割

「愛泉館だより」と「みなみやま」の合併に伴いこのコーナーで愛泉館の情報を発信していきます!

- ① 入所…機能回復・在宅復帰に向けたリハビリを実施
- ② 短期入所(ショートステイ)…短期的なリハビリのほか、介護者の休養にもご利用可能
- ③ 通所リハビリテーション…日帰りでリハビリ・入浴・食事などのサービスを提供(デイケア) リハビリのみの短時間デイケアもあり
- ④ 訪問リハビリテーション…理学療法士などが訪問し、生活動作のリハビリを実施

ご利用に関するお問い合わせ ☎0561-74-1711 (担当/長屋、浅井)

愛泉館は地域のみなさんの在宅支援を行う在宅強化型介護老人保健施設です。





受診の際はご予約をお願いします

☎0561-73-7721

【受付時間】月～金曜 9:00～17:00  
土曜 9:00～12:00

【募集職種】

- 愛知国際病院  
一般病棟・緩和ケア病棟  
看護師(常勤)
  - 愛泉館  
看護師(常勤/非常勤)
- ※詳しくは各施設のホームページをご確認ください。



お問い合わせください

☎0561-73-7721

【受付時間】月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00

渡航外来、好評です  
「渡航外来」をご存知でしょうか。海外旅行や長期滞在の前にご利用いただくもので、当院ではワクチン接種以外にも、持病をお持ちの方への服薬指導や渡航先で必要な薬の処方、現地医療情報など、さまざまなご相談をお受けしております。国際旅行医学会認定の医師が担当しますので、専門的な内容も安心してお問い合わせください。英語での診断書発行にも対応しています。受診をご希望の方にはご予約をお願いいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

愛知国際病院

就職フェアに参加しました

ウイソク愛知で9月9日に行われた就職フェアに、愛泉会として参加しました。看護師としてブランクがある方やキャリアアップを考えると、家庭との両立を図りたい方など、参加者のみなさんとお話するなかで、私たちが取り組んでいる「医療・介護・在宅にわたる、つなぎめのない継続的なケア」について多くの方に興味を持っていただけました。

愛泉会

参加費  
無料



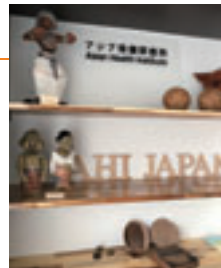
【日時】2018年11月10日(土)9:30～12:00  
【場所】アジア保健研修所 ラウンジ名  
【講師】平良 一器(司法書士)、松坂光明(税理士)  
【定員】20名

【場所】アジア保健研修所(AHI)  
日進市米野木町南山987-30  
(愛知国際病院となり)

お申し込みは、事前予約をお願いします  
(電話またはE-mail)

☎0561-73-1950

✉info@ahi-japan.jp 【担当/羽佐田】



AHIの改修工事も完了し、バリアフリーとなりました

最期の時を考える講座  
「遺言書」と「税金対策」  
自分の「最期」をどう迎えるか。それは年齢に関係なく、すべての人にとって大きな課題です。その時のために、心の準備もしたいし、残していくものをどうするかも考えたい。そんなあなたのために、若い2人の専門家が「遺言書」と「税金対策」について、優しい言葉でお伝えします。

AHI(アジア保健研修所)

医療と介護の相談室



指定居宅介護支援事業所 愛泉館

～今回の相談者～  
患者さんのご家族

元気だった62歳の母が、末期のがんと診断されました。痛みで動けなくなってきていますが、自宅で過ごすことを希望しています。どのようにしたら良いでしょうか。

Q  
A  
がんによる痛みや症状があっても、訪問診察や訪問看護などの医療サービスが関わることでご自宅でも苦痛を和らげながらお過ごしいただくことが可能です。また、40歳から64歳までの方は、第2号被保険者として特定の疾病の診断がつけば介護保険が利用できます。末期のがんもそのひとつです。

ご本人の状態を伺って、居宅介護支援事業所のケアマネジャーを紹介してくれます。ケアマネジャーはすぐご自宅を訪問し、ご本人、ご家族の希望を確認しながら福祉用具のレンタルや介護のサポートなどさまざまなサービスが利用できるよう、調整します。ケアマネジャー、医療サービス、介護保険サービスの事業者がチームとなって、住み慣れたご自宅でご家族と共に過ごす生活を支えます。【今回の回答者】指定居宅介護支援事業所 愛泉館

相談窓口はこちら ☎0561-74-1341 【受付時間】月～金曜/9:00～16:00 土曜/9:00～12:00



心のフリズム  
～ずっと忘れたくないエピソード～



人生の「再び」を取り戻すために

rehabilitation(リハビリテーション)のrelは「再び」という意味です。病気やケガで失われた患者さんの身体機能を「再び」取り戻すために、理学療法士の私は訓練や治療を行っています。以前、余命半年と宣告された乳がんの方から訪問リハビリ依頼がありました。目標は自室まで歩けるようになって身辺整理がしたいというもの。前向きなようで死を覚悟した要望に私はとまどいました。ところがリハビリを進めると、数メートル歩くのがやっとの状態から、部屋まで歩けるようになり、明るい表情で趣味が旅行だったと話してくれました。内心私は、旅行に行く体力はもうないよう思いましたが、自宅周辺を散歩できるまでになった頃、「バスで買い物に行った」と自信満々の笑顔で報告し

てくれました。その後も東京へ1泊旅行、さらに海外旅行に出かけたときにはとっくに余命宣告の時期を過ぎていました。

もちろん全て順調だったわけではありません。それでも「再び」と望んだものはその方らしい生き方だったと気づかされました。病気や障害ばかりにとらわれず、まず患者さん自身を知ること、そしてその人らしく生きていくために何がお手伝いできるのか、これからも向き合うことを大切にしていきます。

(訪問看護ステーション「えまい」  
訪問リハビリテーション担当 茶木牧美)



Cover Story



CROSS people(P3)に登場した川口さんと宮崎さんは、15年以上一緒に働く、大切な仲間。撮影中も自然に笑顔がこぼれます。

ちょっとオフタイム

飛び込み参加も大歓迎!

みんなと交流が持てて楽しいです!

当法人のテニス部は約10人。ほぼ毎週木曜日19時から21時まで日進市の口論義運動公園で活動しています。今年は女性部員も増えました。初心者の方にはラケットをお貸しして、外科の河村医師はじめ、みんなで教えあいながら、楽しく汗を流しています。毎回後半は男女混合のダブルス試合で盛り上がっています。一緒に働いていても、なかなか話す機会の少ない人たちとも和気あいあいと過ごし、病院の明るい雰囲気づくりにも貢献しています!



テニス部



East Favorite

名古屋から東へ  
お気に入りをご紹介

愛知県みよし市  
5月のミュゲット

美しい庭と  
季節感あふれる  
本格スイーツ



オーナーの小川和生さん。  
優しい笑顔で迎えます。

食感を極めるスイーツ

美しいハーブガーデンに彩られた「5月のミュゲット」。南仏の家庭に招かれたような温かく居心地のいい空間がお客さまを迎え入れます。28年前、オーナーの小川和生さんは名古屋市内で開業したものの、自然豊かなロケーションを探し求め、この地に移って16年。今では草花も生い茂り、訪れる人の目を惹きつけます。小川さんは和菓子店を営む両親のもとで育ち、ごく自然にパティシエの道へ。「タルト生地は毎朝サクッと焼き、歯ごたえや香ばしさを大切に」と本場ヨーロッパを受け継ぐ一方、きめ、ざらつき、しっとり感などケーキに合わせて食感にこだわるオリジナリティも光ります。舌に広がる幸せの時間、ぜひ味わってみてください。



パッケージや包装紙は  
小川さんのデザイン。



美しいフラワーアレンジメントが  
ディスプレイされた喫茶スペース。



カリカリのチョコレートヌガーがアクセントのチョコレートの「和(かず)ロール」(真ん中)は10年以上のロングセラー。



「ミュゲット」は仏語ですずらん(花言葉は幸福の再来)。  
幸せをお届けしたいという思いが込められています。

5月のミュゲット

【住所】みよし市黒笹3丁目7-10  
【TEL】0561-36-1530  
【営業時間(休み)】  
10:00~19:00  
(カフェのLO18:30)  
水曜定休・火曜不定休  
(祝日は営業)

11月中旬より、  
人気の「いちごのタルト」  
が登場します。

賛助会員募集の  
お知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757 【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757  
【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会 【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上でお願いいたします)

編集後記

「みなみやま」がカラーとなって2年。医療法人の広報誌ですが、難しくなく、役に立ち、ほっこりできる欲張りな冊子を目指しています!裏表紙のお店紹介も好評、とありがたいお話を聞きました。今号はケーキ店の登場…秋といえば、モンブランケーキが食べたいなあ。なんて私が一番ほっこりしているかもしれません。(諸石)

●これまでお寄せいただいているご意見・ご感想、大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

【医療法人財団 愛泉会】

■愛知国際病院 ■老人保健施設 愛泉館 ■指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■日進市東部地域包括支援センター  
■訪問看護ステーション えまい ■住宅型有料老人ホーム カナン 【関連施設】AHI(アジア保健研修所)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 <http://aisen-kai.jp/>

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま90号」 発行日:2018年10月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣

※無断で複写、複製、転載することを禁じます。



スマートフォンでも  
ご覧いただけます

お問い合わせ

医療について ☎0561-73-9179 (地域医療  
連携室)

介護について ☎0561-74-1300 (日進市東部地域  
包括支援センター)

【医療・介護についての受付時間】月~金曜 9:00~17:00 土曜 9:00~12:30